

19/11/29 名古屋市民オンブズマンによる質問と、竹中工務店からの回答文字起こし

名古屋市民オンブズマン：東区から来た内田と申します。

竹中工務店に対し、はね出し工法についてお尋ねいたします。

19/11/28 名古屋市議会本会議において、浅井正仁市議は、竹中工務店が提案している木造
天守閣の基礎構造であるはね出し工法について「コンクリートを流し込む手法は、穴蔵石
垣を撤去し、慶長期からある可能性が非常に高い根石や土といった遺構を壊すことになり、
本末転倒ではないか」、と指摘しました。

それに対し、松雄観光文化交流局長は、「石垣部会から、『現在の石垣の一部の毀損を前提
としている基礎構造は認められないと、当初から指摘しているとのご意見もいただきました。
また、文化庁からは基礎構造については、穴蔵石垣に遺構が残っている可能性を前提
に検討するようご助言をいただいております』と述べました。

当の石垣部会 千田嘉博奈良大学教授は、昨日 11/28 の市民説明会の後の市長との共同記者
会見で、はね出し工法について質問され、「今は結論を出せません。調査に基づき議論をし
た上で、どのくらいの学術的な価値を持っているのか、痛んでいるかを評価した上で、
穴蔵階の解体修理が必要なのが判明する。また、はね出し工法がなりたつのかも明らか
になる」と述べました。

そこで竹中工務店に3点質問します。

1点目

実施設計は、千田先生がおっしゃられるように、現在の石垣の調査と評価が終わるまで終
了しないと考えるとよいでしょうか。

2点目

当初の実施設計契約は、15億6384万円 2020年5月29日までとなっております。

しかし2019年3月末までですでに2億6400万円の繰越となっております。

現時点で契約はどうなっていますか。期限と金額について変更がありますか。

今後仮に期限が延びた際、金額はどうかお答え下さい。

3点目

19/1/23 市民説明会の際、会場から「はね出し工法は石垣部会が断じて認めないと言ってい
るが」という質問に対し、竹中工務店は「耐震性と史跡の保護を両立させた案は可能と考

える」と述べました。

その後の進捗状況はどうなっていますでしょうか。

はね出し工法以外の工法が、現時点で提案できていますでしょうか。

以上よろしく願いいたします。

司会：今、竹中さんと名古屋市に

名古屋市民オンブズマン：いや、竹中だけ

司会：竹中さんだけでよろしいでしょうか はい、じゃあよろしいでしょうか。3点

竹中工務店：最初がですね、実施設計、現在の石垣に対するはね出し工法の取扱いがどうなっているかというご質問で、よろしいですかね

名古屋市民オンブズマン：はい

竹中工務店：それにつきましては、今回名古屋城というのはご承知のように、特別史跡の中で石垣が一番大切なですね、ということは十分認知しておりまして、この前の石垣部会の先生とですね、そのあたりをじっくり協議させていただきながら、石垣の保全に向けてですね、どういった目線合わせをしていくかというところを協議を進めていきたいというふうに考えております。

で、2つ目はあの

名古屋市民オンブズマン：終了するの？

竹中工務店：2つ目はあの

名古屋市民オンブズマン：終了んですか

竹中工務店：2つ目は終了するかと言うことですよね

名古屋市民オンブズマン：いや違う、1点目で、調査と評価が終わるまで終了しない、ということですかと聞いているんです

竹中工務店：だから、設計がということですね

名古屋市民オンブズマン：はい

竹中工務店：それについて終了するかどうかということで、おっしゃるとおり、そういったところの目線合わせをして、最終成果物としてまとめるためにはですね、すこし今お時間を、今の契約実施設計契約の期間で出来るかどうかというものを、名古屋市さんとこれから協議をしていこうという段階になっております。

名古屋市民オンブズマン：うん？で？

竹中工務店：そういった意味での、設計期間のですね、変更というような手続もですね、必要場合によってはなるというふうに考えております。

名古屋市民オンブズマン：今は？

竹中工務店：それが今の設計契約の話しだということによろしいですね

で、最後、はね出し基礎構造というものが、耐震性の確保と史跡の保護というところをですね、矛盾することなく出来るのか、というご質問だと思うのですが、それにつきましても、一番最初にお話しさせていただいたようにですね、やはり有識者の先生方と、そのあたりの考え方がですね、本当に妥当かどうか、目線合わせをしながらですね、整理をしていくというふうに考えております。

司会：ありがとうございます。

名古屋市民オンブズマン：現時点で提案はあるんですか？

竹中工務店：現時点でもですね、いろいろな考え方をアイデアとしては出させて頂きながら、今後目線合わせをしていこうという風に考えております。

司会：ありがとうございます。